

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
2	1	2						観光係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。				主たる内容	○歴史文化PRブースの出展 市内外のイベント等で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを出展する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村交流事業 刈谷市民と東吉野村民が天誅組に関する史跡等を相互に訪問する。			
		位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改訂版、第3次刈谷市観光推進基本計画							
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 4回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・パンフレット作成 ・啓発被服作成 法被10枚ほか ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 24人		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 3回 ・あいち戦国絵巻 in 江戸 ブース出展 1回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 19人		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 3回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 東吉野村訪問 28人		・水野家ゆかりのまち交流 ブース出展 3回 ・刈谷城盛上げ隊 歴史博物館出演 12回 市内外催事出演 23回 ・東吉野村交流事業 刈谷市来訪 20人				
成果		ゆかりの市町や他市でのイベントにおいて、刈谷市のブースを出展し、魅力をPRできた。 市内外のイベント等において、刈谷城盛上げ隊の出演により刈谷市の魅力をPRできた。 刈谷城盛上げ隊を運営することで歴史文化の啓発に努めた。また、活動拠点を歴史博物館とし歴史文化の啓発の一翼を担えた。								
課題		現在の刈谷城盛上げ隊の運用方策が、他に類似事例が無いため、費用検証が難しい。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）			39	39	38	38	38	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			30.4	—	31.7	33.1	35.0	
他市との比較検証		本市の魅力に合わせた独自の取組であるため、他市と比較できない。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		10,205	6,073	6,781	7,051	合計 6,780,950 円			
	財源	特定財源	2	0	3	0	旅費 663,520 円			
		一般財源	10,203	6,073	6,778	7,051	需用費 142,286 円			
	職員人件費 ②		3,840	3,836	3,982	3,806	役務費 284,178 円			
	総事業費（①+②）		14,045	9,909	10,763	10,857	委託料 4,999,940 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		備品購入費 691,026 円		
		6年度までの累積事業費		0		保険料実費徴収金				
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷の魅力発信事業		担当部	市民活動部
一般会計					担当課	文化観光課
款	項	目			担当係	文化振興係
2	1	2				観光係
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 また、盛上げ隊を活用して地域資源のPRを推進することで、武将観光を推進する県と一体的に事業に取り組んでいる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	盛上げ隊については事業を委託することで職員の負担・コストを節減しつつ、効果を高めることができた。また、隊員にボランティアを採用することでコストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	事業を通じて、総合計画にある「歴史・文化資源をいかしたにぎわいづくり」に応えることができる。 また、歴史文化を軸とした他市町との多面的な交流促進の観点からも、市が主体的に実施するべきである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	イベントにおいて、市職員が直接刈谷市についてのPRを行うとともに、甲冑を着用した存在感の強い武将隊が演武等を披露しながら刈谷の魅力を発信できるので、訴求力などが高く、施策への貢献度は高い。	
			今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止	
歴史文化的な刈谷の魅力を発信するため、継続して事業を行う。						

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化				
		基本施策	歴史・文化・観光交流				
		施策の内容	観光交流の推進				
	目的	民間団体が実施する観光振興のための活動を支援することで、市民サービスの向上及び市の活性化を図る。			主たる内容	○刈谷市観光協会が行う観光事業等に要する経費の補助	
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市観光推進基本計画、刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略				
	位置づけ	根拠法令					
	対象者	刈谷市観光協会		事業期間	平成10年度～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他					

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、大名行列・山車祭、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅周辺かりやストリートイルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、大名行列・山車祭、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、刈谷駅周辺かりやストリートイルミネーション ・観光案内所運営		
	成果	補助金を交付することによって、観光協会が行う刈谷の魅力向上や情報の発信に寄与した。							
	課題	市と観光協会の役割分担を明確化する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	成果指標	主催・共催事業来場者数等（人）			155,000	298,000	230,000	300,000	480,000
	指標								
	他市との比較検証	観光協会が主催・共催する催事数が多く、また、催事規模も大きいことから、近隣市町と比較して補助金額が突出して高くなっている。【参考】安城市：18,300千円、碧南市：500千円、東浦町：2,000千円							

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		111,342	125,252	124,224	129,368	合計 124,224,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 124,224,000 円		
		一般財源	111,342	125,252	124,224	129,368			
	職員人件費 ②		2,409	2,317	2,867	2,511			
	総事業費（①+②）		113,751	127,569	127,091	131,879			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0					
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	観光係	
7	1	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	本市の観光振興を図るためには、市内業者や団体と連携を密にして推進する必要がある。観光協会は市内主要業者等で構成されており、その目的も総合的な観光振興によるまちづくりへの寄与とあるため、公益性も高いと判断していることから本事業は必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	観光事業は時代潮流に合わせた対応が求められる分野であるため、行政が実施するよりも効率的な対応が可能となっている。また、観光協会は様々な団体から構成されているため、各種団体との連携が必要な場合に協力等が得られやすい。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	当該団体の補助対象事業は、一定の公平性及び公益性が担保されていることから、その事業に対する補助金の交付は適正と考えている。また、総合計画及び観光推進基本計画にも当該団体との連携が示されていることから妥当性は高いと判断している。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	総合計画及び観光推進基本計画に観光協会との連携は明記されている。また、当該団体の補助対象事業は、本市が目指す観光交流に寄与している現状からも施策への貢献度は高い。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	市と観光協会の役割が明文化されていないことから、今後は、それぞれの役割の明確化のため、国や県、他市町の事例等を参考に調査研究するとともに、適宜、市の観光振興との整合性を考慮しつつ補助対象事業の内容検証に努める必要がある。					

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	観光交流の推進						
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。				主たる内容	○各種保存団体が主催する行事に要する経費の補助		
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	各保存会			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	・大行列・山車祭 中止 ・万燈祭（規模縮小） 開催日 7月30日・31日 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月28日		・大行列・山車祭 開催日 5月5日 来場者数 33,000人 ・万燈祭 開催日 7月29日・30日 来場者数 77,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月27日 来場者数 600人		・万燈祭 開催日 7月27日・28日 来場者数 73,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月25日 来場者数 600人		・大行列・山車祭 開催予定日 5月5日 ・万燈祭 開催予定日7月26日・27日 ・野田雨乞笠おどり 開催予定日 8月24日		
	成果	（万燈祭）補助金を交付することで、文化の保存継承と観光客の来場による賑わいの創出に寄与した。 （野田雨乞笠おどり）大会開催にかかる経費の一部を補助することで伝統文化の保存継承に寄与した。							
	課題	（共通）後継者育成など団体の自立を促すことで協賛金の確保などの自主財源を確保し、各催事等の運営が可能となるよう指導していく必要がある。 行事として開催するのみで、観光資源として活用しきれていない。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			30.4	—	31.7	33.1	35.0
	活動指標								
	他市との比較検証	近隣市における同様の祭事支援額としては、突出して高い。 【参考】西尾市：三河一色大提灯まつり2,180千円、鳥羽の火祭り575千円							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
事業費 ①		4,399	10,159	5,261	10,520	合計 5,261,300 円			
財源		特定財源	300	300	300	300	負担金、補助及び交付金 5,261,300 円		
		一般財源	4,099	9,859	4,961	10,220			
職員人件費 ②		527	537	757	810				
総事業費（①＋②）		4,926	10,696	6,018	11,330				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		地域創造助成金			
	8年度以降の事業費見込		0						

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	観光係	
7	1	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	担い手や支援者の減少により、祭りが衰退傾向にあるため、祭り開催を支援することは、伝統文化の保存継承と後継者育成といった面で必要性が高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	本事業の目的達成のための支援規模が適正であるか、各保存会の補助金の支出内容を精査する必要がある。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存継承のための補助は必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	大名行列・山車祭及び万燈祭、野田雨乞笠おどりは刈谷市の伝統的な祭りであり、当該祭りの開催支援は、総合計画等にも示されている。また、祭りが継続することで、歴史的資源として活用できる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後は、協賛金などの自主財源のさらなる確保による資金面での自立を促すなど、各保存会の育成に努める必要がある。					

会計名			文化芸術団体育成事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		文化観光課		
款	項	目					担当係		文化振興係		
10	5	1									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり								
	目的	様々な文化創造活動を行う刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援し、文化創造活動の活性化を図る。				主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○刈谷音楽協会の事業に対する補助				
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版							
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷文化協会育成事業補助金交付基準、音楽振興活動補助金交付要領								
		対象者	刈谷文化協会、刈谷音楽協会				事業期間	平成30年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・刈谷音楽協会実施事業に対する補助			
成果		刈谷文化協会への団体補助と刈谷音楽協会実施事業に対する補助により、文化芸術活動への支援を行った。 刈谷文化協会が主催する市民文化祭を支援したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。									
課題		高齢化に伴う会員数の減少が顕著な団体もあり、新規会員の確保が課題である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
成果指標		刈谷文化協会及び刈谷音楽協会のイベントの参加者数等（人）			7,287	7,639	7,199	7,700	7,800		
指標											
他市との比較検証		文化協会について、刈谷市は195万円を補助。近隣市では碧南市：175万5千円、安城市：170万円、知立市：335万円、岡崎市：94万6,000円を補助している。 音楽協会について、近隣市で音楽協会へ補助をしている事例が無いため、比較できない。									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,660	2,750	2,750	4,363	合計 2,750,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,750,000 円				
		一般財源	2,660	2,750	2,750	4,363					
	職員人件費 ②		1,506	1,535	1,593	2,065					
	総事業費（①＋②）		4,166	4,285	4,343	6,428					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名			文化芸術団体育成事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	文化振興係	
10	5	1				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	様々な文化創造活動を行う刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	刈谷文化協会は、文化振興指導員が事務局を務めており、事業運営や経理など適正に行われている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民が文化芸術に触れる機会を提供する刈谷文化協会及び刈谷音楽協会を支援することは妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	市民が文化芸術に触れる機会を提供することで、本市の文化振興に寄与することができた。	
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
刈谷文化協会や刈谷音楽協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要であるため、引き続き支援を継続する。						

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	2						歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池のカキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。				主たる内容	○保存対策調査委員会による植生調査・遺伝子調査・保護対策 ○調査委員会の指導に基づく小堤西池の水質水位の継続調査 ○カキツバタ保護増殖のための池や東側丘陵地の除草や清掃等 ○カキツバタ開花時期における警備や駐車場案内等		
		位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存活用計画、第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版					
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～	
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他						
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・カキツバタ遺伝子調査						
			5年度実績	・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・調査報告書の刊行 ・池周辺看板設置 2基					
6年度実績				・保存対策調査委員会の開催 3回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採					
				7年度計画 ・保存対策調査委員会の開催 2回 ・水質調査 ・水位調査 ・除草、清掃作業 6日間 ・丘陵地の樹木伐採 ・カキツバタ遺伝子調査					
成果		除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くのボランティアの参加があり、実施できた。							
課題		雨水量減少及び池の湧水量減少の影響を受け、時期によっては水量が少ない時がある。 外来種などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
		活動指標	ボランティア参加数（人）		226	297	312	320	340
		成果指標	見学者数（人）		8,570	5,828	5,968	8,500	9,000
他市との比較検証	知立市「八橋かきつばた園」来場者数 75,000人（4～5月）								
C 事業コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①	7,781	9,045	8,312	9,235	合計	8,312,013 円		
	財源	特定財源	0	0	0	10	報償費	256,000 円	
		一般財源	7,781	9,045	8,312	9,225	需用費	118,473 円	
	職員人件費 ②	4,367	4,450	4,619	4,738	委託料	7,937,540 円		
	総事業費（①+②）	12,148	13,495	12,931	13,973				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費	0						
		8年度以降の事業費見込	0						

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	文化観光課	
款	項	目		担当係	文化振興係	
10	5	2			歴史博物館	
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由		
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。	
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも最適な手段である。	
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。	
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力発信に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護対策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 市内唯一の国指定天然記念物の保護・増殖を図るため、自然環境の維持保全の重要性を今後も継続して啓発する。 池の水源確保や外来種の増加に対して、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議し、必要な調査を継続的に実施する。					

会計名			観光施設等管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	観光交流の推進							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏の活性化を目指し、各観光施設の充実を図る。				主たる内容	○オアシス館刈谷の管理経費 ○万燈蔵、観光倉庫等の管理経費			
		位置づけ	関連計画	第3次刈谷市観光推進基本計画						
		位置づけ	根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成30年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画			
			・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料		・土地借上げ料 ・火災保険料 ・電気料			
成果			・定住自立圏担当会でオアシス館刈谷の利用について検討を行った。							
課題			・オアシス館刈谷で実施している情報発信のための展示内容が恒常化している。 ・今後は、刈谷ハイウェイオアシス内にあるという立地上の特性を活かした展示等の方策を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
成果指標		オアシス館刈谷来場者数（人）			553,100	525,800	430,800	900,000	900,000	
活動指標										
他市との比較検証		倉庫や施設の規模等が異なるため、他市と単純に比較することは難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,328	1,958	2,178	2,005	合計 2,177,775 円			
	財源	特定財源	298	309	297	306	需用費 509,304 円			
		一般財源	2,030	1,649	1,881	1,699	役務費 34,821 円			
	職員人件費 ②		301	307	478	405	使用料及び賃借料 1,633,650 円			
	総事業費（①＋②）		2,629	2,265	2,656	2,410				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 光熱水費実費徴収金 鉄道高架下倉庫等賃貸料				
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	観光交流の推進						
	目的	わんさか祭りの魅力向上を目指すとともに観光の振興を図る。				主たる内容	○花火の打ち上げに伴う経費		
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	～		
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	わんさか祭りフィナーレ花火 開催日：8月20日 規模縮小（打上げ時間10分間）		わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日		わんさか祭り花火大会 開催日：8月17日		わんさか祭り花火大会・ドローンショー 開催予定日：8月16日		
	成果	・花火を打ち上げることで、市内で開催されるイベントの中で最も集客力を持つイベントとなり、市外からも多くの人が集まる知名度が高い催事となっている。							
	課題	・会場内外での花火観覧場所の確保や会場周辺での交通渋滞、迷惑駐車が課題となっている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	活動指標	わんさか祭り来場者数（人）			52,000	105,000	78,000	100,000	120,000
	活動指標								
	他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市及び武豊町と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会を実施している。							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
事業費 ①		4,800	9,800	9,800	13,000	合計	9,799,750 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	9,799,750 円	
		一般財源	4,800	9,800	9,800	13,000			
職員人件費 ②		2,274	2,317	2,405	2,835				
総事業費（①＋②）		7,074	12,117	12,205	15,835				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0					
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			広域観光推進事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	観光交流の推進							
	目的	広域的な視点での観光施策の充実や地域のつながりを強め、地域活性化を目指す。				主たる内容	○衣浦定住自立圏の観光関連事業に伴う経費 ○西三河広域観光推進協議会の運営負担金			
		位置づけ	関連計画	第3次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	平成27年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっと歴史スタンプラリー」デジタル版の作成 ・定住自立圏「観光情報発信事業」での観光リーフレットの作成及び配布							
			5年度実績	・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河ぐるっと歴史スタンプラリー」の実施 ・定住自立圏出展等交流事業の実施並びに令和6年度の観光情報発信事業案の決定						
6年度実績				・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「観光カード」の作成及び配布 ・定住自立圏「観光情報発信事業」での観光リーフレットの作成及び配布						
				7年度計画	・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河広域観光推進協議会主催の「西三河のあそびと食をまるっとスタンプラリー」の実施 ・定住自立圏出展等交流事業の実施並びに令和8年度の観光情報発信事業案の決定					
成果		・西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」で情報発信を継続したほか、西三河広域のPRと観光客の増加を図るため、観光パンフレットの代わりとなる名刺サイズのカードを作成した。 ・定住自立圏の「観光情報発信事業」で、構成市町の写真映えフォトスポット等を紹介し、圏域への誘客を促進するためのリーフレットを作成した。								
課題		・情報発信サイトを有効に活用し、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 ・発信力の強化と周遊観光促進により交流人口を拡大する各取組を実施しているが、その効果の検証が不十分である。 ・合意形成に時間を要する。 ・各市町で観光に対しての考え方が異なるため協議会としての方向性が定めない。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
		活動指標	西三河広域観光推進協議会公式サイト閲覧数（件）	1,202,174	1,661,621	1,205,193	1,700,000	1,700,000		
		指標								
他市との比較検証	近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。									
C 事業コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①	2,662	359	2,155	2,232	合計	2,155,000 円			
	財源	特定財源	1,242	0	1,145	0	委託料	1,705,000 円		
		一般財源	1,420	359	1,010	2,232	負担金、補助及び交付金	450,000 円		
	職員人件費 ②	1,581	1,611	1,433	2,025					
	総事業費（①+②）	4,243	1,970	3,588	4,257					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0	6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費	0	衣浦定住自立圏構成市町負担金						
		8年度以降の事業費見込	0							

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部		市民活動部	
一般会計							担当課		文化観光課	
款	項	目					担当係		文化振興係	
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	無形民俗文化財保存団体等の活動を支援することで、先人がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。				主たる内容	○無形民俗文化財の保存団体等が国民文化祭等の大会に出演する経費に対する補助			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版							
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、刈谷市民俗芸能啓発事業補助金交付要領							
	対象者		無形民俗文化財保存団体等				事業期間	平成22年度～		
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助		・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助 ・愛知県民俗芸能大会に出場（野田雨乞笠おどり保存会）		・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助		・各団体に芸能大会等のイベントの情報提供 ・申請の事務補助 ・愛知県民俗芸能大会に出場			
	成果	県をはじめとする補助金制度の情報提供と申請手続きの補助をすることで、本市の文化財の保存・伝承を図ることができた。								
	課題	無形民俗文化財の保存団体等へ制度の周知を図っていく。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	出演支援回数（団体）			0	1	0	1	1	
	指標									
	他市との比較検証	刈谷市を除く碧海五市及び岡崎市、豊田市では、無形民俗文化財の保存団体等に対して活動経費の補助を行っており、その補助対象経費項目の中に、刈谷市民俗芸能啓発事業補助金と同様の経費が含まれている。								
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	0	300	合計 0 円				
財源		特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	0	0	300				
職員人件費 ②		226	230	239	364					
総事業費（①＋②）		226	230	239	664					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0						
	8年度以降の事業費見込		0							

会計名			加藤与五郎博士顕彰祭開催補助事業				担当部		市民活動部				
一般会計							担当課		文化観光課				
款	項	目					担当係		文化振興係				
10	5	1											
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化										
		基本施策	歴史・文化・観光交流										
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用										
	目的	野田自治会の主催により開催される加藤与五郎博士顕彰祭にかかる費用を支援することにより、文化振興を図る。				主たる内容	○加藤与五郎博士顕彰祭開催に対する補助						
	位置づけ	関連計画											
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則、加藤与五郎博士顕彰祭開催事業補助金交付要綱										
		対象者	野田自治会			事業期間	令和6年度～						
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他											
BDO 事業実績 計画V	4年度実績			5年度実績		6年度実績		7年度計画					
										・野田自治会への加藤与五郎博士顕彰祭開催補助			
												・野田自治会への加藤与五郎博士顕彰祭開催補助	
	成果	野田自治会が開催する加藤与五郎博士顕彰祭にかかる費用を補助することにより、歴史文化の継承につながった。											
	課題	加藤与五郎博士顕彰祭は野田自治会の主催により開催しているため、継続して野田自治会が開催できるように支援を継続していく必要がある。											
	指標名称（単位）				実績値			目標値					
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度				
	活動指標	加藤与五郎博士顕彰祭の開催			—	—	開催	継続開催	継続開催				
	指標												
他市との比較検証	市独自の事業であるため、他市との比較が難しい。												
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳						
	事業費 ①		0	0	242	300	合計 241,513 円						
	財源	特定財源	0	0	242	300	負担金、補助及び交付金 241,513 円						
		一般財源	0	0	0	0							
	職員人件費 ②		0	0	956	1,012							
	総事業費（①＋②）		0	0	1,198	1,312							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称							
		6年度までの累積事業費		0		加藤与五郎顕彰科学教育振興基金繰入金							
		8年度以降の事業費見込		0									

会計名			史跡管理事業				担当部		市民活動部			
一般会計							担当課		文化観光課			
款	項	目					担当係		文化振興係			
10	5	2										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	歴史・文化・観光交流									
		施策の内容	文化財の保護・伝承									
	目的	史跡を適切に管理するとともに、文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。					主たる内容	○史跡の維持管理及び剪定等の管理委託				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版									
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例									
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和元年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
BDO 事業実績 計画V	4年度実績	・椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・椎の木屋敷跡、お大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・椎の木屋敷跡の設備管理等 ・椎の木屋敷跡の地質調査										
		5年度実績	・椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・椎の木屋敷跡、お大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・椎の木屋敷跡の設備管理等									
			6年度実績	・椎の木屋敷跡他の樹木剪定 ・椎の木屋敷跡、お大の方由緒の地、宮城道雄供養塔、穴戸弥四郎碑、加藤与五郎生家跡の樹木管理 ・椎の木屋敷跡の設備管理等 ・宮城道雄供養塔の設備管理等								
				7年度計画	・史跡の樹木剪定 ・史跡の樹木管理 ・史跡の設備管理等							
	成果	市が保有する史跡を適切に管理することで、文化財の保護を図ることができた。										
	課題	住宅に近接する史跡が多く、近隣住民からの苦情等があるとケースごとに対応策を検討する必要がある。										
	指標	指標名称（単位）					実績値			目標値		
							4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
		活動指標	史跡管理数（箇所）				5	5	5	5	5	
		指標										
他市との比較検証	史跡の保有状況は各自治体によって異なるため、比較が難しい。											
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳					
	事業費 ①		6,173	4,697	5,464	4,923	合計 5,464,271 円					
	財源	特定財源	10	10	10	19	需用費 656,779 円					
		一般財源	6,163	4,687	5,454	4,904	役務費 8,852 円					
	職員人件費 ②		452	460	478	526	委託料 4,789,290 円					
	総事業費（①+②）		6,625	5,157	5,942	5,449	使用料及び賃借料 9,350 円					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
8年度以降の事業費見込		0										

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	2						歴史博物館	

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化・観光交流					
		施策の内容	文化財の保護・伝承					
	目的	施設来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。				主たる内容	○館内ガイド ○依佐美送信所関連資料の展示 ○ガイドボランティアへの活動支援	
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画中間改定版				
		根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間		平成20年度～	
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画			
		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 118日 ・館内ガイド利用者数 2,468人 ・来館者数 23,067人 ・映像機器修繕		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 125日 ・館内ガイド利用者数 3,103人 ・来館者数 24,249人		・ガイドボランティアによる館内ガイド実施日数 128日 ・館内ガイド利用者数 3,376人 ・来館者数 26,435人		・館内ガイド利用者数 3,400人 ・来館者数 27,000人	
		成果	ガイドがあることで様々な目的の来館者に対応することができ、好評価を得ている。広報媒体から取材の申し込みがあり、依佐美送信所記念館をPRすることができた。						
		課題	館内ガイド以外にも、産業遺産としての情報発信方法を考える必要が生じている。						
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	ガイドボランティア会員数（人）		43	42	41	45	50	
	成果指標	ガイド利用者数（人）		2,468	3,103	3,376	3,400	3,500	
	他市との比較検証	近隣市に類似の施設が無い場合、比較が難しい。							

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		530	101	119	241	合計	118,521 円
	財源	特定財源	0	0	0	10	需用費	17,661 円
		一般財源	530	101	119	231	役務費	860 円
	職員人件費 ②		452	468	478	526	委託料	100,000 円
	総事業費（①＋②）		982	569	597	767		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0				
		8年度以降の事業費見込		0				

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	9								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	十朋亭を市民の憩いの場として提供できるよう管理し、施設の環境を最適に保ち、文化の向上を図る。				主たる内容	○受付等業務委託 ○施設・設備管理			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例、刈谷市十朋亭条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	昭和47年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託 ・汚水樹清掃委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託		・受付等業務委託 ・夜間受付等業務委託 ・施設保守点検業務委託 ・消防設備点検業務委託		
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、文化の向上を図ることができた。								
課題		市有財産の有効活用の観点から稼働率を上げるための施策を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		提供した時間区分数（回）				132	335	356	380	420
指標										
他市との比較検証		類似の施設がなく、比較が難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	5,357	5,518	6,281	合計 5,517,617 円			
	財源	特定財源	0	323	370	379	需用費 795,756 円			
		一般財源	0	5,034	5,148	5,902	役務費 39,068 円			
	職員人件費 ②		0	2,455	2,548	2,875	委託料 4,651,130 円			
	総事業費（①+②）		0	7,812	8,066	9,156	使用料及び賃借料 23,663 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 8,000 円			
		6年度までの累積事業費		0	十朋亭使用料					
		8年度以降の事業費見込		0						